

奥山発電所の出力変更について

平成27年10月5日
北陸電力株式会社

おくのやま

当社は、奥山発電所（富山県富山市奥山）の発電所出力を300キロワット増加させたことから、本日（10月5日）、電気事業法第9条第2項の規定^{※1}に基づき、「電気工作物変更届出書」を経済産業省中部経済産業局へ届出しましたので、お知らせします。

[発電所出力の概要]

・奥山発電所 出力 10,300キロワット（300キロワット増）

当社は、水力発電電力量の拡大に取り組んでおり、2020年度までに発電電力量1億キロワットアワー／年程度の拡大（2007年度対比）を目標に進めております。

この度、神通川水系の奥山発電所は、水車の設備改修（水車羽根車の取替）に伴う性能確認試験結果により、発電所出力を300キロワット増加できることを確認したことから、出力を変更しました。

今回の変更により、発電電力量は、年間約90万キロワットアワー（一般家庭約250世帯の年間使用電力量に相当）増加し、年間550トンのCO₂排出量削減効果^{※2}が期待できます。

当社は、今後とも、再生可能エネルギーの導入拡大などにより、低炭素社会の実現に積極的に取り組んでまいります。

以上

別紙：「奥山発電所の概要」

※1 電気事業法第9条第2項の規定

発電所出力を変更する場合、出力変更後（事後）に経済産業省へ届出なければならない。

※2 当社2014年度調整後CO₂排出原単位を使用して試算

奥山発電所の概要



奥山発電所 本館



水車羽根車（ランナ）

	発電所諸元
運転開始年月	昭和37年12月
水車型式	立軸単輪四射ペルトン水車
発電機型式	立軸三相交流同期発電機
主機台数	1台
発電所出力	10,300kW(300kW増)
増分発電電力量	約90万kWh/年